

13. 第9次行財政改革に関連する主な取組

(単位 千円)

取組番号	大綱取組項目	取組内容	所管課	予算額
2	子ども・子育て関連施策の見直しによる次世代の育成	放課後こども教室を週5日かつ夏季休業期間中に実施している11校に連携推進員を配置することにより、学童保育所と一体的に連携し、多様な体験や活動を行う場の提供につなげる。 【連携推進員配置校：11校】	放課後児童支援課	290,039
3	自前主義からの脱却	身体障害者手帳の交付等に関する申請受付やデータ入力などの定型業務について、担い手を整理し、一般職員ではなく会計年度任用職員により実施することにより、業務の効率化を図る。 【一般職員作業量：10,276時間】	障害者福祉課	22,538
		市内3か所で開催している粗大ごみ持ち込み・収集受付業務を専用窓口となるコールセンターへ一元化することにより、市民の利便性向上を図る。【一般職員：5人】	ごみ総合相談センター	55,304
7	行政手続きのオンライン化	子育てや介護に係る各種手続きについて、マイナポータルによる電子申請を可能にするとともに、市の基幹系システムに申請情報を取り込み、処理できるシステムを構築することにより、市民の利便性向上と業務の効率化を図る。【対象手続：26件】	デジタル推進室	20,000
		オンラインで粗大ごみ収集の申込みから手数料の決済まで行うことができる電子申請を導入することにより、市民の利便性向上と業務の効率化を図る。【電子申請の導入：1件】	ごみ総合相談センター	4,575
8	ICT技術の活用による実施手法の見直し	業務システム等に関する職員からの問合せに庁内チャットボットを導入し、対応業務の効率化を図る。【導入：3所管】	デジタル推進室	-
12	地域の実情に応じた施設の適正性の確保	姫水平自然の家について、利用状況や社会状況を踏まえ、施設の所在地である長野県長和町に譲渡する。 【削減額：45,751千円】	生涯学習政策課	-
		戸吹湯ったり館について、当初の設置目的と現在の運営状況を踏まえ廃止する。【削減額：53,025千円】	地域医療政策課	-
		重層的支援体制整備事業について、包括的な相談窓口である八王子まるごとサポートセンターを増設することにより、地域において利用しやすい相談体制を構築する。 【施設：2件】	福祉政策課	40,500
		高齢者あんしん相談センター左入及び片倉について、それぞれ加住事務所及び由井事務所に移転集約することにより、市民の利便性向上を図る。【施設：2件】	高齢者福祉課	48,405
17	政策形成における情報の利活用	住民基本台帳などのデータを効率的かつ日常的に集計・分析が可能なシステムを導入することにより、証拠に基づく政策立案（EBPM）につなげる。 【導入システム：1件】	都市戦略課	9,766
		事業者の経営状況を取得し、実態を把握するとともに、補助金等の施策介入を行った事業者の追跡調査を行うことにより、限られた資源を有効活用しながら、より効果が高い事業を推進する。 【調査対象：5,000事業者】	産業政策課	8,519
19	若手職員による「行政事業イノベーションプロジェクト」	「働き方改革」の取組として、席を固定しない「フリーアドレス」を導入することにより、執務スペースの有効活用と職場環境の改善、コミュニケーションの活性化を図る。【導入：4所管】	労務課	-

取組内容は、「行政事業イノベーションプロジェクト」の提案に関連する取組